

## Serum levels of Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 binding protein reflect the severity of chronic pancreatitis

藤山, 隆

---

<https://hdl.handle.net/2324/1931826>

---

出版情報：九州大学, 2017, 博士（医学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）



KYUSHU UNIVERSITY

氏名：藤山 隆

論文名：Serum levels of *Wisteria floribunda* agglutinin-positive Mac-2 binding protein reflect the severity of chronic pancreatitis  
(血清 *Wisteria floribunda* agglutinin-positive Mac-2 binding protein 値は慢性膵炎の重症度を反映する)

区分：甲

#### 論文内容の要旨

【目的】慢性膵炎のマーカーとしての血清 WFA<sup>+</sup>-M2BP 値の有用性を評価する。

【方法】内視鏡的逆行性胆道膵管造影を施行した慢性膵炎患者 74 症例および、健常者 30 例の血清 WFA<sup>+</sup>-M2BP 値を、糖鎖免疫アッセイを用いて測定した。さらに血清 WFA<sup>+</sup>-M2BP 値と Cambridge 分類の関連性を評価した。

【結果】血清 WFA<sup>+</sup>-M2BP 値は健常者 ( $0.34 \pm 0.25$ ) と比較し慢性膵炎患者 ( $0.64 \pm 0.28$ ;  $P < 0.001$ ) で有意に高かった。Cambridge 分類の mild, moderate, marked に分類された慢性膵炎患者の血清 WFA<sup>+</sup>-M2BP 値（カットオフインデックスとして表現）は、この重症度分類に従い段階的な上昇を認めた（各々 0.44, 0.63, 0.87）。Receiver operating characteristic (ROC) 曲線分析の結果、Cut-off 値は mild, moderate, marked で 0.34, 0.59, 0.61 であり、ROC 曲線下面積、感度、特異度は、mild 以上ではそれぞれ 0.829, 91.9%, 63.3%，moderate 以上ではそれぞれ 0.891, 81.8%, 85.0%，marked ではそれぞれ 0.888, 92.0%, 74.7% であった。多変量解析では、血清 WFA<sup>+</sup>-M2BP が独立して moderate 以上および marked の慢性膵炎と関連していることが示された。

【結論】血清 WFA<sup>+</sup>-M2BP 値は慢性膵炎の重症度を評価する上で有用である。